

令和3年度千葉県子ども・子育て会議における進捗の報告についてのご意見

先だって千葉県子ども・子育て会議の委員の皆様千葉県子ども・子育て支援プラン2020の進捗を報告したところ以下の御意見をいただきました。このうち、御質問については、事務局において回答を作成中です。

番号	資料番号※	委員御意見
1	資料1-2	コロナ禍であり、対面で実施する施策が難しかったのかなと思いました。例えば、「1歳6か月児健康診査・3歳児健康診査の受診率」、「1歳6ヶ月児健康診査・3歳児健康診査の未受診児の状況把握」の受診率などでそのように感じました。1歳6か月検診や3歳児検診は子どもの最低限の育ちの基盤を保障するものと考え、全ての子どもに受けて欲しいと思います。何とか実施する方法を考えられたらいいと思います。(資料1-2目標項目20、21)
2	資料1-2	放課後児童クラブ数が増加しているのに対し、資質向上研修修了者の人数が減少している事が気になりました。遅い時間まで多感な年頃の児童たちを預かるということでも大変なお仕事だと思うので、保育士の給与や労働環境が改善されていくのに合わせて、児童支援員さんたちの労働条件も見直して欲しいと思います。(資料1-2目標項目62)
3	資料1-2	利用者の拡充に伴い放課後児童支援員の人員不足は、保育士不足と合わせて深刻な問題になっています。国の処遇改善補助金の活用を促進してください。また、資質向上も非常に重要なテーマです。資質向上の研修について、支援員等が参加しやすい場所や時間帯を考慮し、更に増やしてください。また各市町村に国の補助を使った研修を積極的に行う事や県の研修にも参加する様に繰り返し通知してください。
4	資料1-2	全体的には、関係者のご努力により、向上していると判断されます。問題は、人材の確保であり、賃金との関係があり、ただちに向上することは困難であると思います。今後の日本のため、千葉県のため、高い順位を付けなければならないところで、国の基準にとらわれることなく、県独自の施策の充実を望みます。
5	資料1-2	「3①ワーク・ライフ・バランスの推進：18 仕事と生活の両立が図られていると感じる家庭の割合」・・・調査対象はどのような方々なのでしょう。正社員のみではなく、パート・派遣・ひとり親等様々な方が対象となっているのでしょうか。(資料1-2目標項目18)
6	資料1-2	「I3②男女が協力して子育てできる環境づくり：19積極的に育児をしている父親の割合3・4か月児健診(健康相談)時、1歳6か月児健診時、3歳児健診時)・・・健診に付き添ったから「積極的に育児をしている父親」と言えると判断する設問は、少し残念な気がします。それも大事な第一歩かもしれませんが、普段の生活の中での育児が大変なのであって、何か月かに一度の健診くらい一緒に行くのが当たり前と思える環境が出来ることを願います。(資料1-2目標項目19)
7	資料1-2	「II5②学ぶ力の向上、健康・体力づくりの推進：23主体的に授業改善に取り組んだ学校の割合」・・・どのような問題に対し、どのような改善策をとったのでしょうか。また、結果としてどのような改善が見られたのでしょうか。(資料1-2目標項目23)
8	資料1-2	「II6② 児童虐待防止対策の充実：26養育支援訪問事業の実施市町村」・・・54市町村のうち事業を行っていない17市町村は、①何故行わないのでしょうか、②どのような問題があるから行えないのでしょうか、③いつから行う予定なのでしょうか。(資料1-2目標項目26)
9	資料1-2	「III9①安心して子育てできる環境の整備：66子どもを生き育てやすいと感じる家庭の割合(子育て環境に対する満足度)」、「III9①安心して子育てできる環境の整備：67子育てを楽しみと感じる家庭の割合」・・・①調査対象はどのような方々なのでしょう。正社員のみではなく、パート・派遣・ひとり親等様々な方が対象となっているのでしょうか。②この設問の意図を教えてください。(資料1-2目標項目66、67)

番号	資料番号※	委員御意見
10	資料1-2	(資料1-2目標項目23, 24) 学ぶ力の向上・健康・体力づくりの推進について、コロナ禍にあって学校は、GIGAスクール構想の実施に熱心に取り組みました。そのスピード感は顕著です。同時に令和の日本型教育の提唱に注視し地道な努力を重ねた結果が授業改善の向上に結びついています。一方体力の低下について危惧しています。各種スポーツ大会が中止され、モチベーションを保持できない児童生徒も多くいます。R3新体力テストの数値はどうなのでしょう。日常の体育授業とともに部活動の在り方の先を見据えて、生涯スポーツの観点からも健康体力増進に結びつくような方策を県や各自治体、レク・スポーツ協会で連携し、様々な運動する機会の提供をお願いします。
11	資料1-2	令和元年から始まった新型コロナウイルス感染のパンデミックの影響が、様々な分野に影響をもたらしましたが、令和2年度末の達成状況が上向きのもが多くみられ、良かったと思います。そうした中、子どもの保健分野で、健康診査の受診率低下が気になります。感染を警戒した受診控えが主たる要因と思いますが、令和3年度は大きな感染拡大と規制が続いたため、さらなる受診率の低下が危惧されます。ここでは集計が示されていませんが、定期予防接種の接種率にも影響があったと推測されます。もし、情報がありましたらお願いします。
12	資料1-2	目標への達成状況が低下している事業（健診率、アドバイザー派遣、交流を要する事業等）は、コロナの影響でしょうか？低下理由の分析が必要と思います。
13	資料1-2	幼児に関わる立場として、入園前にオムツが外れていない、言葉の遅れている幼児が増えている、軽度支援を要するお子様が多い、家族以外の話し相手がいない、子供に失敗させないように事前の準備が周到である、過保護・過干渉などの現状があります。また、多国籍や家庭支援が必要なお子様も多くなっています。1歳6か月健診や3歳児健診の様子で、何か気になることがあった場合、浦安市ではお知らせしていただきとても助かっています。園では優しくかったのに小学校では虐めっ子・しっかり者のリーダー格だったのに不登校などということもありますので、施設ごとの繋がりも大切だと思います。
14	資料1-2	例えばI1①の10代の人工中絶について、現状3.8の数字の意味が分かりません。また3.5になった要因は为什么呢。資料1-3と見比べると、どこを見ればよいのかわかりません。（資料1-2目標項目1）
15	資料1-2	目標の数値に向けて、よろしく願いいたします。
16	資料1-3	多くの施策があり、具体的に事業のイメージが理解できませんが、これらの情報が必要としている人に届いているのかと思います。例えば、通し番号88番「接続期のカリキュラム千葉県モデルプラン」に関して、幼児教育アドバイザーが周知しているとありますが、保育所に周知する機会があるのでしょうか。
17	資料1-3	幼児教育アドバイザーは、千葉県全域の幼児を対象としていると思いますが、人数が足りているのでしょうか。また、幼児教育アドバイザーの質の向上をどのようにしているのでしょうか。
18	資料1-3	今課題になっているヤングケアラーの問題は、どこでどのように考えたらいいのでしょうか。
19	資料1-3	通し番号87について。子育て広場は、コロナ禍の利用制限が解除された今、需要が高まり、とても利用人数が増えています。子育て中の家族にとって、大切な居場所になっていると思うので、県でも支援者向けの研修や支援事業の拡充に力をいれたいです。1歳過ぎたら保育園に預けて働く、というスタイルが当たり前ようになってきていますが、そうでない家庭にもしっかりと目を向けていく必要があると思います。また、保育園で過ごすことで子どもが成長したり、集団でしかできない経験もたくさんあるとは思いますが、家庭でしか味わえない温もりや気持ちのゆとりこそ乳幼児には大切だと思います。働くママパパも、お仕事が休みの日には保育園を休ませて、一緒に広場に行こうかな、と思ってもらえるのが理想的だと思います。
20	資料1-3	通し番号200について。私の住む自治体で夜22時までの放課後児童クラブが話題になりました。預けられる時間を増やすのではなく、時短勤務で負担のない働き方を推奨するように力を入れて欲しいです。しかし、需要があるということもわかったので、時間を長くするのなら、しっかりとお金もかけて、信念をもって働ける人材を確保して欲しいと思います。保育園についても低年齢から長時間預けられている子どもたちのためにも、人材の質の向上が一番大切だと思います。

番号	資料番号※	委員御意見
21	資料1-3	非常に良い取り組みですがコロナ禍もあって参加者が少ないのが残念です。国の令和4年度予算案でも子ども・子育て支援の充実のための研修や調査研究事業等の予算も拡充されるので、多くの方が参加できる様に周知の方法や場所・時間の設定をお願いします。
22	資料1-3	コロナの影響があり、予算消化率が全体的に低くなっているのは、やむを得ないと思います。ただその中で、出産・育児等の消化率が高くなっているのは、望ましい傾向であると思います。人口減少の中で、千葉県をより魅力のある県にするため、子供を産みやすい環境・育てやすい環境を整備していくことが必要であると思われる。
23	資料1-3	「小学生の放課後対応の充実」プラン2020、P106、「5地域学校協働活動推進委員会」での検討結果を明らかにしてください。また、この検討結果に基づき何が実施されたのでしょうか。
24	資料1-3	「新・放課後子ども総合プラン」推進について、県教育委員会から市町村教育委員会への働きかけはどのように行われたのでしょうか。
25	資料1-3	事業番号148「千葉県保育士処遇改善事業」について、県の補助は、市町村が、民間保育士の処遇改善を支援する場合に、補助率1/2かつ保育士1人当たり月額1万円以内の助成となっています。県内において、例えば、財政力のある松戸市では経験年数に応じて月額4万5千円から7万8千円、流山市では月額4万3千円を支給している状況である。財政力が低いと支給額の増額も難しく、保育士の定着を図る上でも、補助額の拡充が必要であると考えます。
26	資料1-3	(事業番号12) キャリア教育推進事業…コロナ禍でもより企業、工場、種々の職業の実際が理解できるようなバーチャル見学プランの開発や紹介をお願いしたいです。
27	資料1-3	(事業番号80、81) いきいきちばっ子遊友ランキング…コロナ禍体力の低下が懸念される。みんなで取り組むことの意義や達成感を味わわせる活動や体力テスト項目を意識し、興味づけ、意欲向上につながるような種目開発、見直しをお願いします。
28	資料1-3	(事業番号209) 地域学校協働活動推進事業…学校運営協議会(CS)とも連携させ、ぜひ学校と地域をコーディネートする人材育成養成事業を望みます。
29	資料1-3	大変多くの事業が進行していて、非常に多くの担当課が分掌しています。「こども庁」、「こども家庭庁」の動きもあるようですが、千葉県においても整理統合が必要と思いますが、そうした動向について教えてください。
30	資料1-3	1～2歳児の定員を増やすためには、質の高い保育人材の確保が必須です。1～2歳児5～6名に一人の保育者では、とても安心安全な保育はできません。保育者の配置を改善し、質の高い人材確保のために、千葉県で今後も取り組みをお願いしたいと思います。事業番号148も、それを原資として市町村独自の上乗せを行って保育士確保を図っているケースもありますが、それも市町村の体力次第であり、中核市や東京都との比較でなかなか近づけないのが現状です。より一層の充実を希望します。
31	資料1-3	事業番号95児童虐待防止対策の充実については、喫緊の問題であり、早急の充実を望みます。
32	資料1-3	事業一覧については、事業内容が多く読み取れずすみません。コロナの状況で家庭環境も変化しています。在宅勤務になり父親が一日中家にいるようになった、収入が減り金銭面の心配がある、母親が就労を始める家庭が増えているなど、様々な要因が挙げられます。本当に困っている人、支援が必要な人は、県や市で計画されている良い事業さえも知らずに、悩んでいる方もいると思いますので、発信方法を工夫する必要があるのではないかと思います。
33	資料1-3	実績の中に実施した中での問題点を記載する事はできないのでしょうか。また計画のめざす姿やねらいを知りたいです。
34	資料1-3	令和2年度はコロナの影響で、予算と決算額に差が生じたように感じます。令和3年度も同様となるかと思っておりますので、来年度もそれを見据えて、事業を計画していく必要があるかと思っております。

番号	資料番号※	委員御意見
35	—	計画立案の枠組みや評価指標によりやむを得ない事であるが、定量的データと定性的データを総合的に評価した結果とは言いがたい印象を受けました。特に、社会的養育（養護）において児童の死亡事件を体験したり、児童養護施設での被措置児童等虐待が後を絶たない状況で、単に「自立援助ホーム」が計画数通り新設できたことで「達成」との評価は安易な気がします。一部老朽化が進む児童相談所の一次保護所の子どもたちの置かれている状況は、重なるネグレクト・心理的虐待さえ危惧されます。計画全体において、進行管理をより専門的観点からの評価を可能とする手法やスケールの必要性を感じます。（資料1－2目標項目31）
36	—	資料を読むだけでは見えてない部分がたくさんあると思うので、お役に立つ意見を出せているかわからず、拙い文章で失礼いたします。今年、第4子が入学し、初めて学童を利用しましたが、環境が合わなかったようですぐに辞めてしまいました。昨年度コロナ禍においては、幼稚園の延長保育を利用しながら仕事をすることに困難を感じました（幼稚園の方針にも左右されるかもしれません。）。また、4月から保育士として小規模保育所で働き始めたので、自分の家庭と仕事を振り返り、日々感じていることを書かせていただきました。よろしく願いいたします。
37	—	現在、コロナ禍の状況で思う様に事業が進まない事も多くあると思いますが、国の予算も毎年増額されて行きますので、今後とも子育て支援の事業を拡充や人材の確保を県として行ってください。宜しくお願い致します。
38	—	新型コロナによる影響が、子育てや子どもの育ちに大きく影響していると感じます。2～3カ月にわたる休園期間は、子どもの体力や心身の発達が止まったままだったように思います。親も子どももギブアップ、現代の家庭の育児力はこんなに乏しかったのだと感じました。スマホをおもちゃ代わりに子どもに与えることが当たり前、3年保育入園児のオムツ着用率が1/4と過去最高でした。
39	—	子育て支援事業も休止や縮小せざるを得ず、親の支援の重要性を感じています。家庭だけでは子どもが育たない、認定こども園、幼稚園、保育園等がその施設や機能を開放し必要に応じて専門機関（児相、子相、自発等）と連携し、すべての子どもと家庭のための子育て支援に取り組む必要性があると痛感しています。児童虐待防止や障がい児の支援への第一歩は、すべての子どもと親への子育て支援からです。
40	—	浦安市はデータからも待機児童はいませんが、ここ数年資格を持つ職員不足で苦労しています。質の高い教育に危機感を感じます。子育て支援もコロナの状況からうまく進まないこともある中、工夫しています。職員のメンタル、健康状態を整える必要もあると思います。家庭の事情は、深くまで介入できませんが、貧困問題も出てきていると思います。
41	—	それぞれの部署において、最善の支援事業を展開されておられることと思います。多くの方の理解と信頼があつての支援実績と考えます。ありがとうございます。コロナ禍による社会のひずみが、弱者への育ちの弊害や格差を生み始めることを想定した対策が必要と感じます。

※便宜上、資料番号については次世代育成支援対策千葉県協議会の配付資料の資料番号に変更しています。